

第6回(平成19年度第1回)美浜区地域福祉計画推進協議会 議事要旨

- 1 日時 平成19年6月2日(土)午前10時~午後0時
- 2 場所 美浜保健福祉センター 1階 調整室
- 3 出席者 (委員)
相澤委員、飯野委員、池田委員、大坪委員、小椋委員、桑原委員、佐藤委員、
佐々木委員、鈴木幽委員、高橋委員、長岡委員、長倉委員、成田委員、別所委員
(14人)

(事務局)
大野美浜区長、上原美浜保健福祉センター所長、
保健福祉サービス課 長谷川主幹、荒川補佐、塩田事務員
保健福祉総務課 石原主幹、半澤主査、小林主任主事
社会福祉協議会美浜区事務所 若林所長、齊藤主任主事
- 4 議題
 - (1) 委員長、副委員長の選任について
 - (2) グループ会議について
 - (3) 地域福祉パイロット事業について
 - (4) 今後のスケジュールについて
 - (5) その他
- 5 議事の概要
 - (1) 委員長、副委員長の選任について
委員の互選により、飯野委員を委員長に、小椋委員を副委員長に選任した。
 - (2) グループ会議について
昨年度の推進協議会及びグループ会議で話し合ったことを事務局から報告し、今後の進め方について確認した。
 - (3) 地域福祉パイロット事業について
事務局から昨年度及び今年度の事業内容を報告し、今年度申請事業への意見具申を行った。
 - (4) 今後のスケジュールについて
事務局から今後のスケジュールを説明し、第2回の開催日時を9月22日(土)午前10時からと決定した。また第1回グループ会議を7月7日(土)午後2時からと決定した。
 - (5) その他 地域福祉活動事例集の作成について
事務局から地域福祉活動事例集の作成について説明し、事例の募集と編集協力者の推薦について依頼した。

6 会議経過

(1) 開会

(2) 美浜区長あいさつ

(3) 委員自己紹介

(4) 事務局職員紹介

(5) 会議の公開について

会議を公開し、議事要旨の作成と会場の撮影をし、インターネット等で広報することについて、委員の了承を得た。(傍聴人なし)

(7) 発言の要旨

今回は初回のため、委員長、副委員長が選任されるまでの間、議事進行については事務局である上原美浜保健福祉センター所長が仮議長を務めることで、委員の了承を得た。

議題(1) 委員長、副委員長の選任について

仮議長： 委員長、副委員長の選任については、美浜区地域福祉計画推進協議会設置要綱第5条第2項でそれぞれ1名を委員の互選により選出するという事になっている。選出方法は、自薦、他薦が考えられるが、まず方法についてお諮りしたい。

委員： スタートして2年目であるので、昨年度の方が継続するのが一番よい。昨年度の委員長がいらっしゃらないのであれば、副委員長に委員長になってほしい。

委員： 昨年度の副委員長である飯野委員に委員長になっていただき、委員長から副委員長を指名していただきたい。

委員： 異議なし。

仮議長： 飯野委員、継続して委員長にというご指名だが、いかがですか。

委員： 年度も新しくなったので、新しい議長団を選ばれてはどうでしょうか。

委員： 飯野委員を推薦したい。

仮議長： 皆様からのご推薦だがいかがですか。

委員： それではまた一年やらせていただきます。

仮議長： お引き受けくださり、ありがとうございます。

先ほど副委員長は委員長が指名するという意見が出たので、副委員長の指名をお願いしたい。

委員： 地域福祉の推進が目的であるので、実際に活動しておられる小椋委員にお願いしたい。

委員： ありがとうございます。しかし、大変忙しいので辞退したい。

仮議長： 会議は頻繁にあるわけではなく、都合が悪ければ欠席ということも仕方ないと思う。せっかくのご指名なので、お引き受けいただけないでしょうか。

委員： ぜひお願いしたい。

仮議長： 全員からのご推薦なので、ご多忙とは思いますが、何とかお願いしたい。

それでは、委員長、副委員長に就任にあたり一言ご挨拶をお願いしたい。

委員長： 昨年一年間、副委員長をやらせていただいて、色々皆様にご迷惑をかけたが、

皆様から聴いたご意見を活かし、今年度、少しでも意義あるものにしたい。

副委員長： ご期待に沿えるかわからないが、やらせていただきます。

仮議長： それでは次の議題、グループ会議については委員長に議事進行をお願いします。

議題（２） グループ会議について

事務局から、資料「グループ会議について（共通ルール）」に基づき、グループ会議の経緯、推進協議会との関係、検討内容、会議の運営、共通認識について報告があった。

委員長： まだスタートしたばかりなので、次回以降、グループ会議から話があると思います。

事務局： 昨年度グループ会議に参加しなかったが、今年度からは参加できる委員がいらっしゃるかもしれないので、改めて参加希望をとる予定であります。

議題（３）地域福祉パイロット事業について

事務局から、平成１８年度の事業実施概要及び平成１９年度の事業募集についての報告と、平成１９年度の申請事業「伝承遊び指導者養成事業」（高洲・高浜地区部会）への参考意見具申の依頼があった。

委員： 美浜区からの申請が少ないようである。第２次の募集はありますか。

事務局： 地域福祉パイロット事業の対象は、その地区における新規事業だが、美浜区の地区部会では、新規事業に取り組む担い手が不足しており、今実施している事業を充実させるので手一杯という地区が多いようです。

また、今年度のパイロット事業の募集は、１回のみ予定だが、今後変化があればまた情報提供したい。

副委員長： 昨年度の各事業はどれくらいの人に参加しているか。

事務局： 幸町２丁目地区部会の「さいわい健康事業」は第１回が５９人、第２回が７５人、第３回が１１７人、第４回が２００人である。高洲・高浜地区部会の「親子ふれあい事業」は第１回が３４人、第２回が３１人、第３回が６５人である。同じく高洲・高浜地区部会の「認知症予防講演会」は全１回で、８６人の参加でした。

委員： 今回申請のあった「伝承遊び指導者養成事業」は、計画は大変よいと思う。指導者をどう継承していくかが難しいので、地域の中で指導者を養成する母体をどう作りだしていくかという点を大事にしてほしいと思う。

委員長： 伝承遊びに使用する材料などのストックが地域に数ヶ所あると有効だと思う。

委員： 申請のあったような事業は、自分たちのところでは既に実施している。色々な組織が別々に実施しているようなので、行政で統一してほしい。

委員： 伝承遊びなどを実施するときに、どこに指導者がいてどのような特技を持っているかというリストがあれば、事業を継続、発展させていく上で貴重な財産になる。これを機会にそういうことに視点をあててほしい。

副 委 員 長： 学校や子どもルームとタイアップした事業がある。社協と地域と一緒にやらないと子どもは育っていかない。

委 員： 他の地区の事業を見ると、自分の地区では既に実施している事業が多い。そのため、新規事業とは言えず、申請できなかった。1、2回の事業もあり、おかしいと思う。

委 員： 昨年度の実施事業は新規事業ですか。

事 務 局： 申請のあった地区では初めて取り組まれる事業として決定している。

委 員： 事業のやり方を変えれば補助金が出るのかもしれない。地域でうまく利用することも考えていく必要があると思う。

委 員： 美浜区には地区部会はいくつあるのですか。

副 委 員 長： 7つである。

委 員： 事業内容を吟味し有意義な事業を立ち上げていく必要がある。子どもの遊びは毎日やらなければ忘れてしまう。

副 委 員 長： せっかくのお金は、有意義に使わなければいけないと思う。新しい事業にではなく、各地区部会の既存事業に配布してもよかったのではないか。10万円で継続事業を実施するのは難しい。

委 員： 地区部会は、今でも大変というのが現状である。福祉の事業は継続していなければいけないものがほとんどであり、それに対して何も手当てがないのであれば、新規事業を起こそうという意欲がわかなくなってしまう。また、新規事業を実施しようとしても、手伝ってくれる人が足りない状況である。

委 員： 地域の高齢者は、伝承遊びを教えること自体はすぐできると思うが、その指導者をどれだけ多く集められるかが1つの主眼だと思う。

パイロット事業が地区部会が中心になって申請することになっているが、今までに色々な委員から意見が出たように、地区部会だけで新規事業を実施するのは大変である。地域で実施したいことがあれば地区部会にご相談いただき、地区部会でなく色々な組織とタイアップしていけば申請しやすくなると思う。これから追加募集があるか、来年実施するかは別にして、そのような話をこの場でして地域に投げかけ、新しい事業を実施していくことが重要だと思う。

事 務 局： 今日はこの推進協議会の場で、補助金交付要綱に基づき貴重な参考意見をいただいた。パイロット事業の補助金は地域福祉計画の趣旨に沿った新規事業の立ち上げ費用として臨時的に措置されているものなので、恒久的に続くものではない。

委 員 長： このテーマについては、また意見交換ができればと思う。

議題（4） 今後のスケジュールについて

事務局から、今後のスケジュール案について説明した。

委 員 長： 昨年度同様、年4回程の予定ですが必要により増えることもあります。何かご意見はありますか。

委 員： 推進協議会の進め方について、基本的にはグループ会議を中心に動き、グルー

ブ会議で検討したことを全体会議に持ち寄ってまた検討するという形式だと思いが、今はグループ会議が3つしかない。その他の課題については、これから追加するのですか、3つのグループ会議が終わってからやるのですか、今後の進め方の基本的なことを話し合ってください。

委員 長： グループ会議で検討したことを全体会議で発表する以外に、色々なテーマが提案されれば、それも検討していくことになると思う。

副委員 長： 3つのグループの他に、検討すべきテーマがあれば今出させていただいて、まずはこの3つを進めないと、増やしても中途半端になってしまう。

委員： 賛成である。

委員： グループ会議の参加人数が少ないと、グループを増やすのは難しい。

委員 長： できるだけ、皆さんに参加してほしい。

(5) その他 地域福祉活動事例集の作成について

事務局から、地域福祉活動事例集の作成について、目的、作成方法、掲載内容、作成部数、配布方法、スケジュールの報告と、編集協力者及び地域福祉活動事例の募集について依頼がありました。

委員 長： 活動事例集は昨年度もありましたか。

事務局： 今年度初めて、保健福祉総務課が公助の1つとして実施します。

委員： どの地区にどのような活動があるのか分かるように、一覧表を作ってはどうか。そうすれば、自分の地区にない活動が何かもわかり、立ち上げたいという意見も出るのではないのでしょうか。

事務局： 事例を選定する前段で色々な情報を集めるので、事例が多く集まれば、一覧表の作成も検討したい。

委員 長： ボランティア連絡協議会には、ボランティア一覧があるが、どのようにPRしているか。また、何件くらいの登録がありますか。

副委員 長： 各団体、学校などに配布している。電話番号が載っていない団体もあるが、それはボランティアセンターに問い合わせさせていただくことになる。

グループは126グループ、個人登録が5千人くらいだったと思う。ボランティア連絡協議会の助成金が削られ、あまり刷れない。

委員： 千葉県社会福祉協議会主催の研修会で、各地で実施している事例を発表し、冊子にして配布していた。県と市と区があるが、地域に根ざした福祉行政をするのであれば、県で集めた事例も参考にし、県と市が作ったものの内容がバラバラでは困るので、同じ福祉に対する行政の考え方を統一してほしい。

委員 長： 皆さんの周囲で有意義な事例があれば推薦してほしい。

事務局： 本日は、編集に協力してくださる委員の募集を行いたいが、いかがでしょうか。

委員： 自薦、他薦で事例が出てきたところに取材をするのですか。

事務局： そうです。

委員： 千葉県社協の研修で発表された委員がいらっしゃる。編集委員にも携わってほ

しいと思うので推薦したい。

委員：先ほどのお話にもあったように、県でも同様の企画があり、我々のプロジェクトはその1つに推薦され、選ばれました。市の方で自薦せずに事例集に出ないと、県に出て市に出ないという矛盾が起きるように感じる。

事務局：県と市とで実施するが、必ずしも県に載らなくても、千葉市でよい事例があれば、千葉市で掲載すればよいと思う。また、県で載っている事例であれば、そちらを活用していただき、市では他の事例を掲載できればと思う。

委員：事例は全部載せるのではないのですか。

事務局：予算と紙面の都合で、今年度は各区2件の予定である。事例集は次年度以降も更新していくので、仮に今年度掲載されなかった場合、次年度以降に掲載するということも考えられます。

委員：内容が少なくても、とりあえずこういったものがあるかだけでも載せてはどうでしょうか。

事務局：編集方法については、今後編集委員会を開催するので、その中で検討したい。今日は編集委員の希望が出なかったが、希望される方がいらっしゃったら、一週間を目途に保健福祉総務課までご連絡いただきたい。

また、もう1点、市政出前講座の活用について依頼したい。

地域福祉計画を推進するには、計画が多くの市民に認知されることが重要であり、事務局としては、今年度も引き続き、広報、PRを重点に進めたいと考えている。そこで委員の皆様には、自治会等の集会の際に、市政出前講座をぜひご活用いただき、地域福祉計画の広報にご協力をお願いしたい。

委員長：行政でよい制度があっても、知られていないということがあると思う。委員の周囲で利用できることがあれば、ぜひ教えてあげてほしい。

次回の推進協議会の日程について協議の結果、9月22日(土)午前10時からと決定した。

委員：グループ会議はそれぞれ自主的に開催するのですか。

事務局：今年度に入り、推進協議会の委員数が減ったため、グループ会議の参加委員も減っている。昨年度入っていない委員に、もう一度意向を確認し、陣容を整えて改めて開始したいと考えている。

委員：最初の1回の日時は決めたらどうですか。

委員：最初の1回を決めないと、動きにくい。

委員：日時が決まったら、事務局が文書を作って流してほしい。

事務局：第1回は3グループ同時に開催することにし、事務局も立ち会う。その後のグループごとに随時開催する際は、グループの中で連絡調整していただきたい。

第1回グループ会議の日程について、協議の結果、7月7日(土)午後2時からと決定した。

(会議終了)